

臨床研究に関する情報公開について

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	肺癌に対する定位放射線治療におけるin vivo dosimetryの評価			
実施予定期間	研究実施許可日　～　（西暦）2025年11月30日			
実施診療科	放射線治療科			
研究の審査等	臨床研究審査委員会審査日		2025年1月29日	
	研究実施承認日		2025年1月29日	
対象となる方	対象期間に、けいゆう病院において原発性肺癌および転移性肺癌に対する定位放射線治療を行った方			
対象期間	（西暦）2021年4月1日～（西暦）2024年11月30日			
研究責任者	所 属	放射線治療科	氏 名	大澤　直也
研究の意義	肺癌の定位放射線治療は、肺に局限した小さな標的に対して多方向から大線量の放射線を集中的に投与しつつ周囲正常組織の被ばく線量を最小限にする照射技術です。肺癌は呼吸により動くため照射中の息止め等の呼吸性移動対策を行い照射中の標的のずれを評価する必要があります。in vivo dosimetry は照射中の患者体内を通過した放射線を測定することで治療中のエラーを検出することが期待されています。当院では、体内を通過した放射線を電子ポータル画像装置（EPID）で画像化し、予測された線量と比較することで計画通りに治療が行われているかを確認する方法で in vivo dosimetry を行っています。肺癌の定位放射線治療において in vivo dosimetry を用いることで呼吸性移動による標的の動き等の照射中のエラーを効率的に検出できると考えます。			
研究の目的	肺癌に対する定位放射線治療において in vivo dosimetry を用いて呼吸性移動による照射時のエラーを検出できるか評価する。			
研究の方法	原発性肺癌および転移性肺癌に対する定位放射線治療を行った患者を対象と			

	し、照射時にin vivo dosimetryを測定し予測線量との一致率を評価する。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を匿名化した上で使用します。(治療計画用CT画像、線量分布、輪郭情報、治療計画データ、in vivo dosimetryデータ)
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定ですが、個人を特定できる情報として公表されることはありません。
個人情報の保護	対象者となる方の情報使用に関しては、個人を特定できる情報を削除して番号(匿名化)を付けた上で研究責任者の責任のもと厳重に管理・保管します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181 (代表) 内線6354 放射線治療科 大澤 直也